



# 9月22日～9月28日の予定

月日	授業						校内行事	校外行事・分掌・学年等の行事	給食	部活動終了	スクールバス		完全下校	
	朝	1	2	3	4	5					6	1便		2便
22	月	生	月	月	月	月	水	短縮授業 清掃ローテーション 朝：生徒集会 給食12:20~13:20 6校時~15:05 清掃15:10~15:25 (ローテーション) 終会15:35~15:50		○	17:30	16:00	17:45	17:45
23	火	秋分の日								可				
24	水	/	水	水	水	水	/	普通日課 第2回授業研究 朝：活動なし 1校時 8:35~9:25 2校時 9:35~10:25 3校時10:40~11:30 4校時11:45~12:35 給食12:35~13:30 清掃なし(昼休み簡単清掃) ※ゴミsta 終会13:35~13:50	・社会を明るくする会あいさつ運動7:30 ・授業研究 3校時：英語 4校時：音楽 ・分科会14:15~	○	なし	14:00	-	14:00
25	木	裁	木	木	木	木	/	普通授業 朝：学裁/打合せ 給食12:40~13:40 清掃14:40~14:55 終会15:05~15:20		○	17:00	15:30	17:15	17:15
26	金	/	金	金	総	総	行	普通日課 後期南中生激励会 自由参観日 自由参観8:35~12:25 朝：活動なし 1校時 8:35~9:25 2校時 9:35~10:25 3校時10:35~11:25 4校時11:35~12:25 給食12:25~13:25 清掃13:25~13:40 終会13:50~14:05 激励会14:30~15:20 全体指導~15:40 部活動16:00~17:30		○	17:30	16:00	17:45	17:45
27	土							新人大会① 会場、組み合わせ等は別紙を参照してください。 東北A・Dチャレンジカップ (市営陸上競技場)						可
28	日							新人大会② 29(日)・30(月)は、原則部活動はありません。						可

## “挨拶非常事態宣言”発令!

先日の生徒集会で、今南中のあいさつが危機的状況である旨の訴えが、芳賀悠成生活委員長からありました。「あいさつ」については、開校当初ころからがんばることの1つに挙げられ、長い間にわたって先輩方が努力を重ね、『南中PRIDE』に載せられるまでになったのです。しかし、「築城3年、落城3日」のことわざ通り、校風をつくるには長い年月がかかりますが、その努力の尊さを知らない人が、一瞬にして壊してしまう恐れがあります。

私たちに、先輩方から校風や伝統を受け継ぎ、発展させていく責任があるのではないのでしょうか。昨年度、この紙面であいさつについて考えてみましたが、再度、今年も考え見たいと思います。2・3年生は2回目、読んだことのある文章が出てくると思いますが、もう一度読み返してみてください。(以下は昨年度のものをほぼそのまま再掲します。)

そして、最後に先日の生活委員長のことばを載せますので、長文になりますが、そちらもぜひ読んで、自分の、そして自分たちの挨拶を考えてみてください。

### 南中生のあいさつは、いつからよくなったのか? (R6.5.24号より)

転機となったのは、平成15年ごろだったと思います。当時の生活委員会が「あいさつ相撲」という取り組みを行い、校内で男女ともにあいさつの一番いい「人」と「部活動」を投票し、相撲の番付になって、横綱・大関・関脇・小結・前頭・・・という風にランキングしました。当時は、廊下ですれ違ったら「お客様、保護者の方はもちろん、先生方とは何回すれ違ってもあいさつを交わしましょう」ということを徹底しました。お客さまからは、「さっきあいさつしたばかりなのに、今またあいさつ

させられた」などと、苦笑いを浮かべながらも嬉しそうに話をしていただいたこともありますが、「練習なのでどうかご協力をお願いします」と、丁寧にお願いを繰り返しました。部活動ごとのあいさつも盛り上がり、それからどんどん明るいあいさつを交わせるようになり、多少の浮き沈みはあったと思いますが、卒業生の努力や生徒会の取り組みが功を奏して現在に至っています。(ちなみに、2年目からは、女子は番付での呼び方をやめて、「あいさつクイーン」と呼ぶようになりました。)

大分省略しましたが、今日はあいさつの歴史を紹介しました。保護者の方で「懐かしい!」と思った方がいらっしまったのではないのでしょうか?

#### <生活委員長の訴え>

先週の生活委員会で「運動会を通してどのような挨拶を目指すか」というテーマで話し合いを行いました。その中で出た案を、皆さんと共有したいと思います。

初めに、今の南中の挨拶の課題についてです。話し合いの中で出たのは、挨拶の声が小さい、または挨拶をしない、避けることです。私もこの課題の存在がとても大きく、難題であると感じます。

また、「どのような挨拶を目指すか」では、「自分から大きな挨拶する」、「相手の目をみたりして心を込めて挨拶をする」などができました。自分からだけでなく、相手の目をみて行うということが相手にも伝わりやすくコミュニケーションと言えるような挨拶だと思い、とても良いと思いました。

このような挨拶をめざしてがんばりたいところですが、正直今の挨拶は非常に残念なものです。私は毎日、あいさつ運動で昇降口に立っていますが、南中の今の挨拶は「南中PRIDE」と呼ぶには程遠いものとなっています。そんな状況なのにもかかわらず、みなさんに向けたアンケートの中ではほとんどの人は、「いい挨拶ができています」と回答していたそうです。

そんな状況を受けて、私は**挨拶を重点とした「南中PRIDE 非常事態宣言」**を発令したいと思います。現在の挨拶はレベルが低いにもかかわらず、自分たちがその状況に気づいていない危機的状況にあると思います。そこで、そのことに生徒全員で危機感をもって新たなACTIONを起こしていく必要があると思います。運動会はその状況を変えることができる良い機会だと思います。なぜなら、日常生活から「取り組み賞」の得点に繋がるからです。その中で挨拶は、自ら手軽に改善できるアクションだと私は思います。ならば、私は全員でよい挨拶を日々心掛けた組が「取り組み賞」を勝ち取り、三冠に繋がると考えます。

でも、「自分よりも得意な人のほうが評価されやすいから、別にやる意味ないんじゃないかな。」そんな考えは捨ててください。むしろ評価されるのは運動会を通して力をつけることができる人たちです。そう考えると、挨拶ができなかった人たちが勇気をだしてできたことはとても大きく評価されるでしょう。だから運動会は挨拶をよくするいい機会だと思います。そして、みんなが各組に分かれて運動会にむけて頑張り培った力は、いずれ南中全体としてより強固なものになると思います。私はそんな理想をもって運動会に臨みたいです。

全校生の皆さん、生活委員会が出した理想の挨拶を頭に入れて、運動会にむけて頑張ってください。そして、南中PRIDEである挨拶を取り戻しましょう!!